

第二言語習得理論Ⅱ

科目ナンバリング JLE-304
選択 2単位

奥住 桂

1. 授業の概要(ねらい)

現実社会の様々な問題に対して、個人として、また社会として応用言語学の知見をどう生かしていくかを考えます。

2. 授業の到達目標

- 応用言語学の知見を通して、個人や社会が抱える課題の問題点を整理することができる。
- 言語の使用者として、よりよい社会にしていけるためにどうしていくべきか自分の考えを表現できる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業中の活動、発表、課題の提出 50%
- ・個人研究レポート 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

白井恭弘 ことばの力学―応用言語学への招待 岩波書店

5. 準備学修の内容

- ・小テストに向けて、テキストをしっかりと読んで、準備をして臨んでください。
- ・授業中のディスカッションに積極的に参加してください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 標準語と方言
- 【第3回】 国家と言語―言語政策
- 【第4回】 バイリンガルは悪か
- 【第5回】 外国語教育
- 【第6回】 手話という言語
- 【第7回】 言語と文化
- 【第8回】 無意識への働きかけ―政治・メディアのことば
- 【第9回】 法と言語
- 【第10回】 言語障害
- 【第11回】 言語情報処理はどこまで来たか
- 【第12回】 個人研究レポート
- 【第13回】 個人研究レポート
- 【第14回】 個人研究レポート
- 【第15回】 まとめ